

高尾山～陣馬山山行報告

【山行日】2019年4月14(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 4,800円

【メンバー】CL:鈴木ユ、伊藤、大西、梶内、
島田、清水、関、関口、鶴見、福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P4:00＝

和田峠 P5:40/6:10＝高尾山口駅 6:40/7:00～

高尾山 8:30/8:50～城山 9:40/10:00～影信山

10:50/11:35～明王峠 12:50～陣馬山

13:35/13:50～和田峠 P14:10/14:20

＝岩舟支所 P16:20



去年のこの時季に同じコースを計画したが、荒天の為中止を余儀なくされた。

今年は是非行きたいとリクエストがあり、桜が綺麗なこの時季にリベンジ山行を計画した。

岩舟支所を4時に出発し圏央道の八王子西インターで降り、下山口の和田峠に車を止め出発の準備をする。予約したタクシーが到着し、3台に分乗して高尾山口駅に向かった。高尾山口駅前



でタクシーを降り、トイレを済ませストレッチを行って出発する。高尾山への登りは、一番大変な稲荷山コースを登ることにした。清滝駅の先から左に階段を登って尾根に取りつき、高尾山頂まで尾根通しに登る高尾山の中でも登りがいのあるコースだ。皆さんタチツボスミレやエイザンスミレを見つけ、楽しそうに登っている。途中の東屋で小休止し、キーウイフルーツをいただき水分を

補給する。大勢のハイカーに追い越されるがゆっくりと登り、最後の階段の急登を登り切ると高尾山頂に着いた。

山頂の展望台から真っ白な富士山が望め、皆さんが「ウワ～～綺麗！」と歓声を上げていた。トイレを済ませたら山頂標識の前で記念写真を撮り、富士山をもう一度見てから城山に向かう。階段を降りると尾根歩きとなり、広く歩き易い登山道が続き満開の桜が目を楽しませてくれる。途中の展望台から富士山が望め、桜と富士山のコラボに皆さん感動していた。トレランやハイカーの数が多くなり、すれ違いに気を配りながら花を楽しむ。桜やツツジの花を楽しみながら緩やかに進み、トイレやベンチがある一丁平らに着く。さらに桜並木の道を歩いて休憩所を過ぎ、急な木段を下って登り返し、さらに木段を登りつめると小仏城山に達する。



広く平らな山頂は花の山上公園になっていて、茶店のテーブルとベンチで大勢のハイカーが休憩していた。アンテナ塔の左を抜け、茶店跡を過ぎて急坂を下ると小仏峠に出る。ここから今日のコース一番の急な斜面を登って、中間点となる景信山の山頂に着く。茶店の前にテーブルとベンチが沢



山並び、その一角を借りてランチタイムとする。茶店に餅つきを予約したグループが何組か有り、あちこちから賑やかな掛け声が聞こえてくる。我々もキノコうどんを作り、出汁巻き卵やピーミン、漬物などが並び豪華なランチをいただく。昼食が済んだら山頂標識で記念写真を撮り、陣馬山に向かって出発する。山頂の東側から北西に延びる尾根道を下り、ひたすら稜線上を辿って行く。樹林帯

の道を進み堂所山のピークは巻いて進み、緩やかなアップダウンを繰り返して明王峠に着く。小さな売店とトイレが建ち、トイレを借りて小休止する。ここまでくれば陣馬山はもう少しで、緩やかな尾根を進むとシンボルの白馬の像が見えてくる。

最後の急坂を登ると、シンボルの白馬の像が建つ陣馬山山頂に出る。山頂は広く見晴らしも抜群だったが、残念ながら富士山は雲の中で見ることが出来なかった。それでも長いトレイルを歩き登った山頂は素晴らしく、S 水さんは涙を流して感動していた。山頂の記念写真を撮り、デコポンやチョコを食べながら眺望をゆっくり楽しんだ。茶店の親父が「天気予報が悪かったので、アルバイトを断ったらこんな良い



天気になり忙しい！」と嬉しい悲鳴を上げていた。展望を楽しんだら山頂をあとにし、和田峠の駐車場を目指し下山する。下の茶店の左側から下り、ほんの20分程下ると駐車場に着く。茶店の親父に駐車料金を払い、靴を履き替えてトイレを済ませたら帰路につく。和田林道から陣馬街道を走り、八王子西インターから圏央道入る。途中の狭山 PA でお土産を買い、予定より早く岩舟支所に帰着した。

